

令和3年度徳島県信用保証協会常勤理事(会長)候補者 選考結果統括表

令和3年11月29日
徳島県信用保証協会

1. 公募受付期間 令和3年11月5日(金) から令和3年11月18日(木)
2. 応募総数 1名
3. 選考された者 黒下 耕司 (58歳)
4. 現 職 徳島県職員
5. 選考結果

(1)一次選考(書類選考)

令和3年11月24日(水)に第一次理事選考委員会を開催、3名の理事選考委員による書類審査選考を行い、一次選考合格者を決定した。

※理事選考委員(3名)の属性(公認会計士・政府系金融機関支店長・信用保証協会役員)

(2)二次選考(面接選考)

令和3年11月24日(水)に第二次理事選考委員会を開催、3名の理事選考委員による面接選考を行い、二次選考合格者を決定した。

6. 選考理由

徳島県信用保証協会は、「信用保証協会法」に基づき、中小企業者等が金融機関から受ける事業融資について、公的な保証人となることにより金融の円滑化を図り、徳島県内の中小企業者等の健全な発展に寄与し、もって地域経済の活力ある発展に貢献することを目的とする公的機関であります。

そのような組織にあって、本ポストである信用保証協会常勤理事(会長候補)は、徳島県内の経済や中小企業の情勢について優れた見識を有し、国・徳島県・金融機関などの関係機関との円滑な渉外交渉や調整業務が遂行でき、さらに、徳島県信用保証協会の経営理念や基本方針を理解のうえ、経営基盤強化や人材育成の推進等を図り、効率的かつ円滑な業務遂行を行えることが求められます。

今回選考された黒下耕司氏は、徳島県庁在職期間40年の8割強の期間を商工労働観光行政に従事し、本県経済の発展に資する施策運営やマネジメントの実績を築いております。

業務においては、中小企業振興条例の策定、全国に先駆けた「BCPステップアップガイド」の作成など、現場目線での中小企業振興策を積極的に展開され、部長時代には、経済グローバル化により製造業の新規大型立地が見込めない状況のもと、車載電池工場やコールセンター誘致など県内投資を実現し、雇用の拡大に努められております。

また、コロナウイルス感染拡大に際しては、部内を指揮し、全国初となる「ゼロゼロ融資連携型給付金」や観光関連事業者向けの「とくしま応援割」を企画運営し効果的な支援を展開するなど、政策運営で培ってきた経験やノウハウ、マネジメント力を十分に持ち合わせております。

このように、本ポストに求められるすべての資格・経験について非常に優れています。

また、総合支援機関としての役割を担う徳島県信用保証協会の更なる発展に強い熱意を持っており、今までの経験と見識を活かして、信用保証業務の推進に大いに力を発揮することが期待され、常勤理事(会長候補)としての資質及び能力についても十二分にあると認められます。